

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	英語Ⅲ A	
科目基礎情報							
科目番号		0052		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科		情報工学科		対象学年	3		
開設期		前期		週時間数	4		
教科書/教材		PROMINENCE English CommunicationⅡ (東京書籍), Workbook, 夢をかなえる英単語 新ユメタン (1) (アルク), 総合英語be 3rd Edition English Grammar 46 (いっすな書房), Oxford Reading Club, コンパスローズ英和辞典(研究社)					
担当教員		アニス ウル・レーマン, 曾山 夏菜, 鞍掛 哲治					
到達目標							
英文を読む・書く・聞く・話すための力を伸ばす。辞書を活用して自力で英文読解や英作文や発表ができることをめざす。英語を使った学習活動を通して社会や自分のことに目を向け、考える力をつける。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		基本的な到達レベルの目安(可)	
語彙		体系的に理解した語彙項目や文法項目を到達目標 2 ～ 6 の理想的な到達レベルの中で活用することができる。		教科書や副教材に出現する語彙や文法項目の意味や構造について体系的に理解し再生できる。		教科書や副教材に出現する語彙や文法項目の意味や構造について体系的に理解し再生できない。	
聞く		より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、与えられた課題や場面にに対し適切な反応を行うことができる。		与えられた課題や対話などの内容や意味について理解し、その事について適切な反応を行うことができる。		与えられた課題や対話などの内容や意味について理解し、その事について適切な反応を行うことができる。	
読む		より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、与えられた課題や場面にに対し適切な反応を行うことができる。		与えられた課題や文章などの内容や意味について理解し、その事について適切な反応を行うことができる。		与えられた課題や文章などの内容や意味について理解し、その事について適切な反応を行うことができる。	
書く		より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、与えられた課題や場面にに対し適切な反応を口頭で行うことができる。		与えられた課題や指示に沿った内容の文または文章を口頭で話すことができる。		与えられた課題や指示に沿った内容の文または文章を口頭で話すことができない。	
話す		より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、与えられた課題や場面にに対し適切な反応を記述で行うことができる。		与えられた課題や指示に沿った内容の文または文章を書く(作文する)ことができる。		与えられた課題や指示に沿った内容の文または文章を書く(作文する)ことができない。	
発表する		到達目標 1 から 5 で培われた能力やスキルを総合的に利用し、与えられた課題や場面について自分の考えやまとめたことを他者に向けて発表することができる。		到達目標 1 から 5 で培われた能力やスキルを総合的に利用して、与えられた型を応用して発表したり他者とコミュニケーションをとったりすることができる。		到達目標 1 から 6 で培われた能力やスキルを総合的に利用して、与えられた型を応用して発表したり他者とコミュニケーションをとったりすることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		後期開講の英語Ⅱ B と共に本校での英語学習の最初の段階で修得すべき科目として位置付けている。学修すべき内容は英語Ⅱ B へ引き継がれる。					
授業の進め方・方法		理解した内容や今までに学んだスキルを活かして発表や発信するための力につなげるため、授業の中において聞く・読む・話す・書くとう4つの技能を統合的に高めていくために必要な活動を行う。聞く・読む活動や文法、表現についての学習と理解を踏まえ、グループやペア、個人での調べ活動、話し合い、発表等を含んだタスクを行う。					
注意点		予習・復習を十分に行い、語彙力・構文理解力の強化と内容理解に努めること。英語でのコミュニケーション能力向上のため授業の殆どは英語で行うので、授業中は英語でのコミュニケーションに努めること。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		本科目の目標、評価、授業の進め方、自宅学習の仕方等について理解する		
		2週	Lesson 07 Part 1 / Lesson 08 Part 1		Lesson 07 Section 1 / Lesson 08 Section 1 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。		
		3週	Lesson 07 Part 2 / Lesson 08 Part 2		Lesson 07 Section 2 / Lesson 08 Section 2 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。		
		4週	Lesson 07 Part 3 / Lesson 08 Part 3		Lesson 07 Section 3 / Lesson 08 Section 3 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。		
		5週	Lesson 07 Part 4 / Lesson 08 Part 4		Lesson 07 Section 4 / Lesson 08 Section 4 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。		
		6週	Lesson 07 & 08 Comprehension & Communication Activity		Lesson 07：持続可能な社会を構築するため自然と人間の関係性はどうかを考え、自分の意見を書くことができる。 Lesson 08：地雷の問題は、それが埋められている国だけの問題なのかどうかについて考え、自分の意見を書くことができる。		

		7週	Lesson 07 & 08 Grammar & Exercises	Lesson 07：仮定法現在、ifナシ・未来に関する仮定法の使い方を理解し、正しく使用することができる。 Lesson 08：完了の分詞構文、受け身の進行形等の使い方を理解し、正しく使用することができる。
		8週	Lesson 07 & 08 Wrap Up	Lesson 07 & 08 で学習した項目を整理し、理解を深めることができる。
	2ndQ	9週	試験答案の返却・解説 Lesson 09 Part 1 / Lesson 10 Part 1	試験において誤った部分を理解できる。 Lesson 09 Part 1 / Lesson 10 Part 1 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。
		10週	Lesson 09 Part 2 / Lesson 10 Part 2	Lesson 09 Part 2 / Lesson 10 Part 2 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。
		11週	Lesson 09 Part 3 / Lesson 10 Part 3	Lesson 09 Part 3 / Lesson 10 Part 3 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。
		12週	Lesson 09 Part 4 / Lesson 10 Part 4	Lesson 09 Part 4 / Lesson 10 Part 4 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。
		13週	Lesson 09 & 10 Comprehension & Communication Activity	Lesson 09：宇宙開発の意義、すなわちそれが私たちの生活に何をもたらすのか考え、説明できる。 Lesson 10：Eメールやテキストメッセージの利点について考え、説明できる。
		14週	Lesson 09 & 10 Grammar & Exercises	Lesson 09：独立分詞構文、未来進行形・完了形の使い方を理解し、正しく使用することができる。 Lesson 10：不定詞・動名詞の受け身の使い方を理解し、正しく使用することができる。
		15週	試験答案の返却・解説	試験において誤った部分を理解できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	試験	平常点	態度	合計
総合評価割合	70	30	0	100
目標達成度	70	30	0	100